



GAZOO Racing 86/BRZ Race 2015 第5戦 レースレポート(大分オートポリス)

開催場所：大分オートポリス 開催日：8月1日(土)、2日(日)

CABANA Racing with P.MU 念願の初優勝！

2015年8月1日(土)、2日(日)にGAZOO RACING 86/BRZ Race 2015 第5戦が大分オートポリスにて行われた。

CABANAの地元九州で開催されたレースで、遂に歓喜の瞬間が訪れた。

1日(土)の予選レースは猛暑の中でのレースとなり、決勝レースを考えると出来るだけ少ない周回数で良いポジションを獲得したいところ。

ゲートオープンと同時に先頭でコースインした山野選手は、1周目のアタックで予選トップタイムとなる2'14.094をマーク。

決勝レースを理想的なシチュエーションで迎えることとなった。

2日(日)に行われた決勝レースも予選と同じく厳しい暑さのなかで行われた。

ポールポジションから難なくスタートを決め、第1コーナーを通過すると、そこからは正に独壇場のレースとなった。

僅か1周目で2位の選手と2秒近いギャップを作ると、その後もグングンと後続との差を開き最終的には7秒以上の差をつけてチェッカーを受けた。

終わってみると予選ではコースレコード、決勝ではポールトゥウィン、ファステストラップと2013年シーズンを彷彿とさせる圧倒的な走りで見事今シーズン初優勝を飾った。

CABANA Racing with P.MU #7 山野直也選手 コメント

今大会に向けて、前戦から限られた時間の中、チームは車両の各部のリフレッシュを行ってくれました。また、ブリヂストンタイヤも今大会に向けてさらにチューニングを施したスペックを用意してもらい、この相乗効果によって金曜日の練習走行から手応えを感じました。

予選では金曜日の最後に良いセットアップを見つけることが出来ていたので、予想どおりのタイムを刻むことができ、今期初のポールポジションを獲得できました。

決勝はスタートから大きなミスもなく、前半からクリアなレースが出来たお陰で、自分のペースで逃げ切ることができました。

ポールポジション、ファステストラップ、優勝(ボーナスポイント 1.5 倍)と満点を獲得できた事が非常に嬉しいです。また、昨年からサポート頂いている CABANA の皆さんの前でようやく勝利をプレゼントすることができ、僅かではありますが恩返しが出来たと思っています。

シリーズタイトルもまだまだ諦めずに攻めていきます。

引き続き、応援をよろしくお願い致します。

CABANA Racing with P.MU 代表 安藤 宏 コメント

まずは山野選手、メカニックの方々、そして応援くださった皆様にありがとうと心からお礼を述べたいです。

近いようで遠く、長く感じられた初勝利までの道のりでした。

カバナレーシング with P.mu としての参戦1年目は、出足から天候とタイヤのマッチングなどに悩まされ惜しいところで結果を出せずにいると、後半は徐々にチームもマシンも調子も下り坂に向かい、86/BRZ ワンメーカーレースの難しさを痛感しつつ初年度を終えました。

2年目に入り新車を導入するもイマイチ速さが足りずに新車から従来使っていたクルマに戻したりして迷走してしまい、限られた時間を有効に生かせずに1台に絞り込んでのメンテナンスを行うことが出来ずにマシン開発が散漫になってしまっていました。

今回から気持ちを入れ替え、従来車にメンテナンスを一極集中して行い、へたっていたブッシュなど交換可能なパーツを一新して大幅にリフレッシュしたことにより、新しいブリヂストンタイヤの性能を生かす事が出来、山野直也の本来の走りを取り戻すことが出来ました。

レースも残り3戦、相手のある事なので簡単にはいかないとは思いますが最終戦まで諦めずに戦い、勝利を目指しひとつでも上のポジションを獲得できるよう挑んでいきたいと思っています。